

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成 29 年度 第 1 回 幹事会

平成 30 年 3 月 23 日 14 時～
糸魚川市役所 203・204 会議室

1 開会

2 報告

- (1) 平成 29 年度事業の実施状況について 資料1

3 審議事項

- (1) 平成 30 年度事業計画（案）について 資料2
(2) 平成 30 年度収入支出予算（案）について 資料3

4 その他

- (1) 今後の予定について
5/15（火）16：00～ 総会

第1回幹事会 出席者名簿

区分	団体名	所属	職名	氏名	出欠	備考
幹事会	糸魚川市	産業部	部長	齋藤 隆一	○	
	上越市	産業観光部観光振興課	課長	五十嵐 裕	○	
	大町市	産業観光部観光課	課長	太田 三博		
	白馬村	観光課	観光係長	長澤 肇	○	代理出席
	小谷村	観光振興課	課長	横澤 勲		
	朝日町	商工観光課	課長	住吉 雅人		
	新潟県糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	課長	平野 光樹	○	
	長野県北アルプス地域振興局	商工観光建築課	主事	石田 和成	○	代理出席
	糸魚川市観光協会		事務局長	滝川 一夫	○	
	〃			後藤 陽子	○	
	上越観光コンベンション協会		事務局長	片岡 明		
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	○	
	白馬村観光局		事務局長	福島 洋次郎	○	
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一		
	朝日町観光協会		事務局長代理	鍛冶 正弘	○	代理出席
	糸魚川商工会議所	総務課	総務課長	野本 宏一	○	
	能生商工会		事務局長	竹山 勉		
	青海町商工会		事務局長	木下 耕造	○	
	上越商工会議所		専務理事	東條 邦俊		
	大町商工会議所		事務局長	鷲澤 恒夫		
	白馬商工会		事務局長	篠崎 隆弘		
	小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	○	
	朝日町商工会		事務局長	小林 光義		
	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	北陸広域鉄道部	係長	佐藤 博一	○	代理出席
	えちごトキめき鉄道株式会社	総合企画部	常務取締役	北嶋 宏海		
	糸魚川バス株式会社	本社営業所	課長	和田 直樹	○	
	頸城自動車株式会社	観光部営業課	課長補佐	橋立 隆弘	○	
アルピコ交通株式会社		白馬営業所長	津山 健次	○		
事務局	糸魚川市	産業部交流観光課	課長	渡辺 成剛	○	
			課長補佐	山本 喜八郎	○	
			主査	中村 真義		

平成 29 年度 事業報告

平成 29 年 4 月～30 年 3 月

会議の開催

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として4回開催した。

- ・ 第1回 広域観光連携専門委員会（平成29年4月26日開催）
- ・ 第2回 広域観光連携専門委員会（平成29年8月1日開催）
- ・ 第3回 広域観光連携専門委員会（平成29年10月24日開催）
- ・ 第4回 広域観光連携専門委員会（平成30年2月15日開催）

幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に1回開催した。

- ・ 第1回 幹事会（平成30年3月23日開催）

平成 29 年度 の 取 組

(1) 訪日プロモーション地方連携事業（旧ビジットジャパン地方連携事業）

- ・ 外国人旅行者の訪日促進を図る観光庁による戦略的プロモーション事業。地域の提案を国が採択し、国と地域で連携して実施するものであり、サイクルツーリズムをテーマとした台湾からの誘客を図ることを目的に実施。

① 台湾メディア・旅行会社招請事業

【 目 的 】 「海」「溪谷」「北アルプス」の豊かな自然資源等を活用したサイクルコースをプロモーションすることにより、サイクリングを主な目的とした台湾人旅行者の増加を図る。

【実施概要】

4月10日（月）～13日（木）	3泊4日	旅行会社4社4名
7月20日（木）～24日（月）	4泊5日	旅行会社3社3名 ブロガー 6名
9月29日（金）～10月2日（月）	3泊4日	ブロガー 6名

【 行 程 】 ・ 4月10日（月）～13日（木）

(1日目) <朝日町・上越市>

富山空港着==舟川の桜並木とチューリップ-ヒスイ海岸-

岩の原ワイナリー-高田城観桜会-キューピットバレイ（宿泊）

(2日目) <上越市・糸魚川市・白馬村>

高田世界館-直江津港-白山神社-弁天岩- サイクリング

マリンドリーム能生（昼食）-谷村美術館-翡翠園-流星花園（宿泊）
（3日目）＜白馬村・大町市＞

白馬村内サイクリング-青木湖畔（昼食）-仁科三湖サイクリング-
流星花園（宿泊）

（4日目）＜上越市視察＞

白馬-富山空港



・ 7月20日（金）～24日（月） メディア

（1日目）＜白馬村＞

富山空港着==流星花園-白馬村内サイクリング-流星花園（宿泊）

（2日目）＜小谷村・白馬村＞

梅池ヒルクライムコース試走-梅池自然園-梅池フュッテ（昼食）
おびなたの湯-流星花園（宿泊）

（3日目）＜白馬村・大町市＞

黒菱林道、八方池山荘 サイクリング-青木湖周辺（昼食）-
鹿島槍（ウェルカムイベント）-倉下の湯-流星花園（宿泊）

（4日目）＜白馬村・大町市＞

北アルプス山麓グランフォンド-大町市山岳博物館-国際芸術祭-
王子祭り-流星花園（宿泊）

（5日目）＜糸魚川市＞

糸魚川駅ジオパル==富山空港



・ 7月20日（木）～24日（月） 旅行会社

（1日目）＜朝日町＞

富山空港着==立山黒部アルペンルート-立山プリンスホテル（宿泊）

（2日目）＜大町市・小谷村＞

大町ダム-梅池ヒルクライムコース試走-梅池自然園-
梅池フュッテ（昼食）-アルプスホテル（宿泊）

（3日目）＜白馬村・大町市＞

黒菱林道、八方池山荘 サイクリング-青木湖周辺（昼食）-
鹿島槍（ウェルカムイベント）-倉下の湯-流星花園（宿泊）

（4日目）＜白馬村・大町市＞

北アルプス山麓グランフォンド-大町市山岳博物館-国際芸術祭-
王子祭り-流星花園（宿泊）

（5日目）＜糸魚川市＞

糸魚川駅ジオパル==富山空港

・ 9月29日（金）～10月2日（月）

（1日目）＜朝日町＞

富山空港着＝ヒスイ海岸-富山湾岸サイクリングコース試走-
ばたばた茶体験館-ホテル小川（宿泊）

（2日目）＜上越市・糸魚川市＞

高田公園-雁木通り-春日山-白山神社-居多ヶ浜-久比岐自転車道-
うみてらす名立-マリンドリーム能生-白山神社-弁天岩-
竹春館（宿泊）

（3日目）＜糸魚川市＞

グランfond糸魚川-竹春館（宿泊）

（4日目）＜糸魚川市＞

糸魚川駅ジオパル＝富山空港



②台湾旅行博出展・セールスコール

【目的】 「海」「溪谷」「北アルプス」の豊かな自然資源等を活用した
サイクルコースをプロモーションすることにより、サイクリン
グを主な目的とした台湾人旅行者の増加を図る。

【実施概要】 5月4日（木）～5月9日（火） 5泊6日

【旅行博出展】 2017TTE台北国際観光博覧会

5月5日（金）～8日（月）

出展国数 18か国

日本国出展 22団体

来場者数 283,256人

ブース来場者 5,000人



【セールスコール】 5月5日（金）～8日（月）

台湾国内サイクルショップ及び関連企業訪問 22社

③プロモーション用ポスター作成事業

言語 繁体語

作成枚数 100部



（2）エージェントモニターツアーの実施

- ・ 北陸新幹線の開業に伴い、関西方面からの誘客促進を図るため、旅行エージェントを招いたモニターツアーを実施。鉄道と絡めた新しい旅を提案した。

- 【 目 的 】 i) 北陸新幹線に開業に伴い所要時間が大幅に短縮された関西圏からの誘客促進
 ii) 北陸新幹線糸魚川駅の乗降客の増加
 iii) 立山黒部アルペンルートの来訪者を当エリア及び北陸新幹線糸魚川駅へ誘導
- 【 実 施 日 】 7月12日(水)～13日(木) 1泊2日
- 【 ツアー名称 】 関西エージェント現地視察
- 【 参 加 者 】 関西方面旅行会社等(主に商品造成担当者)6社6名
- 【 行 程 】 (1日目)
 糸魚川駅(集合)＝<大糸線乗車>＝八方北尾根高原⇒
 姫川温泉「翠泉閣」(宿泊)
- (2日目)
 高浪の池展望台⇒小滝川ヒスイ峡学習護岸⇒ヒスイ峡展望台⇒
 谷村美術館⇒翡翠園⇒親不知コミュニティロード⇒ピアパーク⇒
 久比岐自転車道⇒能生漁港⇒マリンドリーム能生⇒糸魚川駅(解散)



(3) 冬季シャトルバス運行事業

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客の移動の足として、白馬－糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。

【事業概要】

■運行スケジュール(期間中の毎週水～金曜日 全11回運行)

平成30年1月10日(水)～2月16日(金)

■運行時間

エコーランド(17:00)＝白馬東急ホテル(17:10)＝八方インフォメーションセンター(17:15)＝白馬山麓ツアーズ(17:20)＝南小谷駅(17:40)＝糸魚川駅(18:30～21:30)＝南小谷駅(22:25)＝白馬山麓ツアーズ(22:35)＝八方インフォメーションセンター(22:40)＝白馬東急ホテル(22:45)＝エコーランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り(基本)

■利用料金

片道500円(往復1,000円)

■広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、「エッセンシャルガイド」掲出

■運行実績

利用者 140人【日本人客75人・外国人客65人（スウェーデン26・香港13・豪州11・台湾7・マレーシア4・シンガポール2・米国2）】

※平成28年度実績 利用者125人【日本人客87人・外国人客38人】

※平成27年度実績 利用者100名【日本人客44名・外国人客56名】

（4）北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議

- ・北陸新幹線系魚川駅を利用した周辺市町村への広域的誘客を図るため、誘導方法やそれに関する商品開発を検討する。
- ・平成27年度開催の「北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議」（構成：西日本旅客鉄道株式会社金沢支社、新潟県、長野県、6市町村）で上がった課題から、北アルプス方面へのシャトルバスを運行し、JR西日本の「JR Snow Resort 2017-2018」商品として提供。



「JR系魚川駅—北アルプスエリア連絡バス」

【事業内容】 Snow Resort 商品として、1日1便（往復）系魚川駅—北アルプスエリア間の移動手段を提供（事前申込制）。



●行き⇒

大阪発 7:40(サンダーバード5号)
金沢発 10:56(はくたか560号)
系魚川着 11:45

●帰り⇒

系魚川発 17:33(はくたか569号)
金沢発 18:42(サンダーバード46号)
大阪着 21:22

【運行形態】 貸切バス（大型バス定員42名）

【運行日】 平成29年12月15日（金）～平成30年3月26日（月）

【料金】 旅行会社が販売するツアー代に含む（エージェンツ負担：片道1人1,000円）

【利用実績】 名

【運行ルート】

JR糸魚川駅—北アルプスエリア連絡バスの運行行程

運行期間 2017年12月15日(金)～2018年3月26日(月)

時刻表			
停留所の名称 (北陸新幹線 糸魚川駅着発時刻)		行き(着時刻) はくたか560号(11:45)	帰り(発時刻) はくたか569号(17:33)
1	JR糸魚川駅	12:00	17:00
		15	15
2	JR根知駅	12:15	16:45
		60	60
3	白馬コルチナススキー場ホテルグリーンプラザ白馬	13:15	15:45
		5	5
4	白馬乗鞍温泉スキー場 里見	13:20	15:40
		5	5
5	白馬乗鞍温泉スキー場 白馬アルプスホテル	13:25	15:35
		5	5
6	桐池高原スキー場 総合センター前	13:30	15:30
		5	5
7	落倉 風切地蔵前	13:35	15:25
		5	5
8	岩岳スキー場 ゴンドラ前	13:40	15:20
		5	5
9	八方尾根スキー場 八方インフォメーションセンター	13:45	15:15
		15	15
10	Hakuba47 ウィンタースポーツパーク	14:00	15:00
		10	10
11	白馬五竜スキー場 白馬サンパレーホテル横	14:10	14:50
		5	5
12	白馬五竜スキー場 エスカルプラザ	14:15	14:45
		45	45
13	大町温泉郷ドライブインくろべ路	15:00	14:00

行き:大阪発7:40(サンダーバード5号)ー金沢着10:24 金沢発10:56(はくたか560号)ー糸魚川着11:45

帰り:糸魚川発17:33(はくたか569号)ー金沢着18:24 金沢発18:42(サンダーバード46号)ー大阪着21:22

(5) 鉄道魅力発信事業

- ・大糸線への関心を高めてもらうため、乗車を促すオリジナルグッズを制作、配布することで利用促進と交流人口の拡大を図る。

「思い出のキハ限定 52 限定ストラッププレゼントキャンペーン」

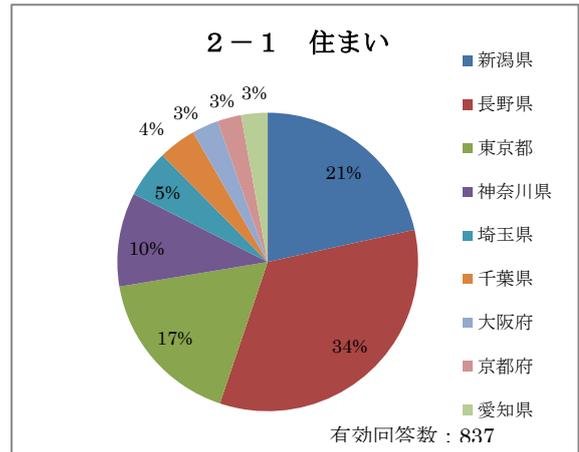
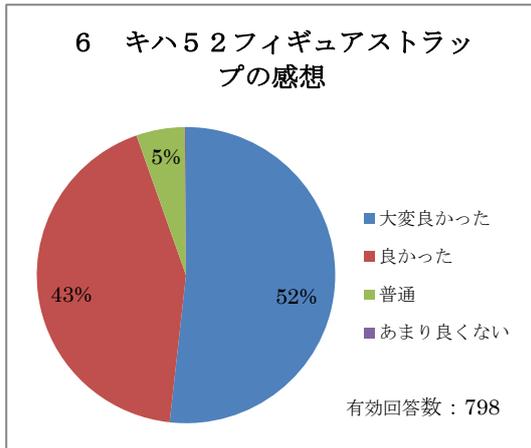
JR大糸線(糸魚川駅～信濃間)に乗車し、指定のスタンプを集めた方を対象にキハ52 フィギュアストラップをプレゼント。

- 期間 8月16日(水)～11月30日(木)
- 要件 専用スタンプが押された台紙と糸魚川駅～信濃大町駅間の効果的な乗車券の提示でストラップと交換。
- 数量 1,261個(先着順。)
- スタンプ設置場所 糸魚川駅大糸線改札口・白馬駅改札口・信濃大町駅改札口



【アンケートの意見（抜粋）】 ※大糸線に乗って良かったところ

- 景色・景観がすばらしい。美しい。
- 姫川の激流・清流・美しさを間近に見ながら走る
- 昭和のまま、ノスタルジーを感じた
- 都会では味わえない新鮮な旅



（6）カーゴトラック&トレイン

・自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間を、自転車を貨物トラック便を利用し移動させることでサイクリストが周遊できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線の利用促進を図る。

※サイクルトレインも併せて運行することにより、サイクリストへの利便性の向上と大糸線の利用促進を図る。

■運行時期

9月2日（土）～10月29日（日）までの土日祝日

■運行方法

・運輸業者が糸魚川～南小谷間において、朝1往復、夕1往復のカーゴ便を設定し、自転車を目的地まで運送。お客さんは自転車をカーゴ便に預けた後、大糸線に乗車し目的地で自転車を受け取る。事前予約制。



【大糸線運行スケジュール】

大町・白馬							
南小谷			9:52	10:04		16:17	16:24
糸魚川			49:52D	49:52D		43:22D	43:12D
直江津			8:52	11:00		15:16	17:21

■利用料金

片道 1,000 円（別途大糸線乗車券が必要）

■広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、フェイスブック

■運行実績

利用者 延 8 人

※サイクルトレイン

■運行時期

6月3日（土）～10月9日（日）までの土日祝日

■運行方法

自転車での移動に危険を伴う糸魚川から小谷の間を、定期車両に一両増結し、増結した車両に自転車を解体せずに乗車させる。事前予約制

■利用料金

無料（大糸線乗車券が必要）

■運行実績

利用者 延 244 人



平成29年度 収入支出決算見込み

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	150,676	160,020	9,344	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	1,919,324	1,919,324	0	
計	8,359,000	8,368,344	9,344	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,475,000	6,030,529	-1,444,471	
広告宣伝	1,000	0	-1,000	
広域旅行商品の販売促進	900,000	0	-900,000	
訪日プロモーション地方連携事業	3,700,000	3,735,440	35,440	訪日プロモーション地方連携事業
冬季シャトルバス運行事業	400,000	400,000	0	
鉄道魅力発信事業	974,000	1,011,245	37,245	思い出のキハ52ストラップ
カーゴトラック&トレイン事業	800,000	182,980	-617,020	
スノーリゾートシャトルバス	500,000	500,864	864	
ホームページ管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	379,208	35,792	
会議費	200,000	179,208	-20,792	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	0	-15,000	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	469,000	0	-469,000	
予備費	469,000	0	-469,000	
計	8,359,000	6,409,737	-1,949,263	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

収入8,368,344円 - 支出6,409,737円 = 差引1,958,607円 は次年度に繰り越す

資料 2

**北アルプス日本海広域観光連携会議
平成 30 年度事業計画（案）**

(単位：円)

区分	事業名		事業費
広域観光PR	広告宣伝	広域マップ作成	1,000
	誘客宣伝	広域旅行商品の販売促進（継続）	900,000
		訪日プロモーション地方連携事業（拡充）	3,900,000
	HP管理	ホームページ運営管理（継続）	200,000
			5,001,000
二次交通	二次交通	冬季シャトルバス運行事業（継続）	400,000
		鉄道魅力発信事業（拡充）	1,300,000
		カーゴトラック&トレイン（拡充）	1,000,000
			2,700,000

誘客宣伝

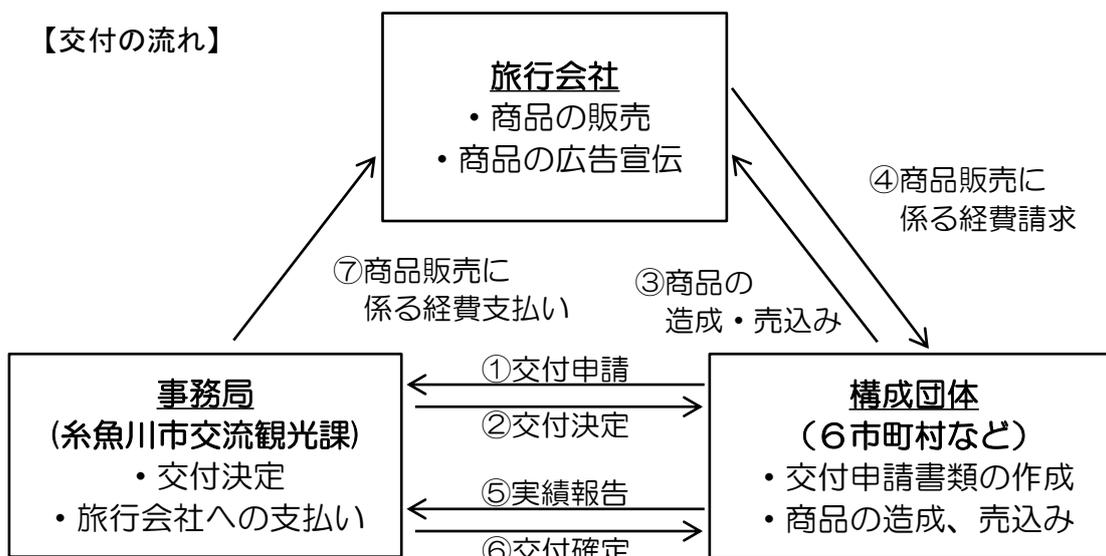
広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大並びに認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

- (1) 北陸新幹線糸魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成、または販売に係る費用を負担する。連携会議構成団体が自ら企画するツアー商品のほか、旅行会社が送客を促すための支援としても利用可。
例：広告協賛金、ツアー代金への充当、バス代補助等
- (2) 2市町村以上を跨るコース設定を条件に広域エリアでの周遊を図る。



3 目標

認知度向上
誘客拡大

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品開発・売込											

5 事業費（概算）

900,000 円 （150,000円×6市町村）

誘客宣伝

訪日プロモーション地方連携事業（拡充） （旧ビジット・ジャパン地方連携事業）

1 趣旨

平成28年度より実施した当事業により、各市町村でサイクルスポーツへの関心が高まり、環境整備へ向け動き出した。ターゲットである台湾からの照会も入ってきており、プロモーションを継続することで認知度の向上と誘客拡大を図る。

2 事業計画（案）

(1) 旅行会社招請（平成30年6月）

サイクルツアー商品を造成している旅行社をエリア毎の見所の時期に招請し、今後のツアー商品造成に繋げる。4社4名招請予定。

◇日本海北アルプエリア及び白馬サイクルフェスタ

【行程案】 4泊5日

6月 富山きときと空港in⇒朝日町⇒ひすい海岸⇒バタバタ茶体験⇒小川温泉
高田公園⇒雁木通り⇒春日山城⇒久比岐自転車道⇒マリンドリーム能生⇒弁天岩・白山神社
ホテル国富アネックス⇒JR大糸線・サイクルトレイン⇒南小谷⇒千国の庄資料館⇒牛方の
白馬岩岳MTBパーク⇒白馬サイクルフェスタ前夜祭⇒白馬サンバレーホテル⇒白馬サイク
ルフェスタ⇒大町温泉郷⇒白馬⇒富山空港

(2) 旅行博出展及びセールススクール（平成30年5月）

5月に開催される台北国際観光博覧会（TTE）に出展し、エンドユーザーに直接訴えかける。また訪台中、旅行会社やサイクルクラブ（ショップ）を訪問し、認知度向上と誘客支援に結び付ける。

◇台北国際観光博覧会 2018年5月4日～7日開催

◇台湾主要旅行会社 台北10社

◇サイクルショップ 台北10社

(3) メディア招請（平成30年7月・10月）

パワーブロッガーでもあるサイクリストをエリア内で実施されるサイクルフェスタに招請。体験談をSNS等を通じて発信してもらう。

◇北アルプス山麓グランfond（白馬村：7月開催予定）

◇グランfond糸魚川（糸魚川市：10月開催予定）

◇各大会5名 3泊4日

(4) 印刷物・映像制作

・サイクルショップ及び旅行会社掲出用ポスターの制作

3 目標

エリアの認知度向上

インバウンド受入環境整備
新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旅行会社招請			○									
旅行博出展・セールスコール		○										
メディア招請				○			○					
印刷物・映像制作	○											

5 事業費（概算）

3,900,000 円

（国の負担決定額2,603,000円）

内 訳 （ 単 位 ： 千 円）	旅行会社招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	地方：航空券、国内移動費、通訳費、宿泊費等	525	1,455	1,980
	旅行博出展・セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：出展費、通訳費、現地移動費 地方：宿泊費、航空券	990	990	1,980
	メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：現地移動費、通訳費 地方：宿泊費、航空券	1,088	1,089	2,177
	印刷物・映像制作	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：動画制作費 地方：ポスター制作費、翻訳費		350	350
	計	2,603	3,884	6,487

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客に、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 実施から4年目（H27年度～）となるシーフードシャトルバスの継続実施。継続することで認知度向上を図り、利用客へ日本海まで近いことを心理的に意識づける。

※平成27年度利用実績 100名（日本人客44人・外国人客56人）

※平成28年度利用実績 125名（日本人客87人・外国人客38人）

※平成29年度利用実績 140名（日本人客75人・外国人客65人）

【H29年度の行程】

エコーランド(17:00) == 白馬東急ホテル(17:10) == 八方インフォメーションセンター(17:15) == 白馬山麓ツアーズ(17:20) == 南小谷駅(17:40) == 糸魚川駅(18:30~21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:45) == エコーランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り(基本) 糸魚川での滞在は3時間

(2) 事業運営は糸魚川シーフードシャトルバス事業実行委員会（糸魚川青年会議所内）。これまでの振り返りを行うなかで、より実績が上がるよう取組を強化する。



【課題】

- ・ 運行時間
- ・ 宣伝方法
- ・ 利用率向上の取組

3 目標

新たな観光ルートの構築
交流人口の拡大

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							企画・調整					
										運行		

5 事業費（概算）

400,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（拡充）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

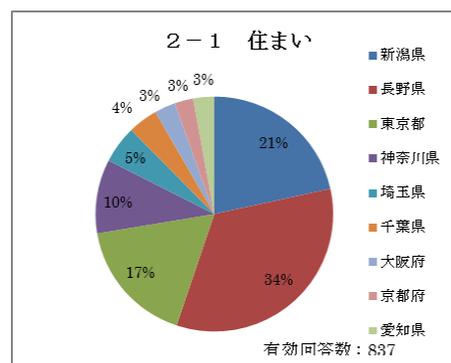
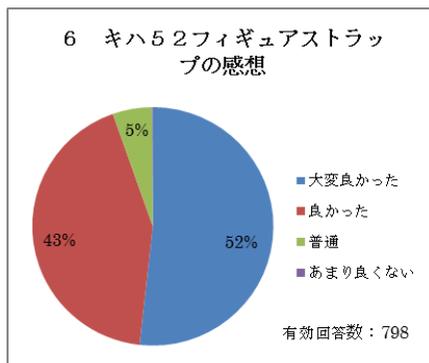
2 事業計画（案）

(1) 鉄道限定グッズの配布・キャンペーンの実施

- ・ H28・29年度は、糸魚川～信濃大町間の利用者増を図る取組みを行った。
H30年度は、日本海ひすいライン、あいの風鉄道において、取組みを行う。
- ・ 日本海ひすいライン、あいの風鉄道の主要な駅にスタンプ台を設置。
- ・ ストラップに付属する駅名プレートは3種用意。
(直江津・糸魚川・泊)

H30年度実施（案）
「ET-122系ストラッププレゼントキャンペーン」
 ①期間：平成30年8月16日（木）～11月25日（日） ②個数：1,000個（各駅300～400個）
 ③内容：スタンプ押印済台紙と有効な乗車券の提示でストラップと交換。

●H29年度実施データ



(2) 情報発信

- ・ 自治体広報、ホームページ掲載
- ・ 各駅にポスター掲出

3 目標

認知度向上・来訪意欲の創出

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		ストラップ製作										
		宣伝				キャンペーン実施						

5 事業費（概算）

1,300,000 円

<内訳>

- ・ フィギュアストラップ製作 900,000円
- ・ ロイヤリティ 10,000円
- ・ チラシ・ポスター 300,000円
- ・ ときめき・あいの風鉄道沿線見所チラシ 90,000円

二次交通

カーゴトラック&トレイン（拡充）

1 趣旨

自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間及び糸魚川～越中宮崎間を、自転車を貨物トラック便を利用し移動させることでサイクリストが周遊できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線の利用促進を図る。

サイクルトレインも併せて運行することにより、サイクリストへの利便性の向上と大糸線の利用促進を図る。



2 事業計画（案）

(1) 実施時期

6月9日（土）～10月28日（日）までの土日祝日

(2) 実施方法

- ・運輸業者が糸魚川～南小谷間、糸魚川～越中宮崎間において、朝1往復、夕1往復のカーゴ便を設定し、自転車を目的地まで運送。お客さんは自転車をカーゴ便に預けた後、大糸線、トキめき鉄道・あいの風鉄道に乗りし目的地で自転車を受け取る。

※事前予約制。



【大糸線運行スケジュール】

大野田																			
南小谷				9:52	10:04			16:17	16:24										
糸魚川			9:50	10:00			16:15	16:21											
直江津			8:52	11:00			15:16	17:21											

【トキ鉄・あいの風運行スケジュール】

泊																			
越中宮崎				8:18	9:30			16:03	16:38										
糸魚川				8:18	9:30			16:03	16:38										
直江津			7:54	9:58			15:40	17:02											

(3) 検討事項

- ・本来であれば旅行商品のパッケージとして販売されるのが望ましい。
- ・そうでない場合、事業を請け負う事業者の選定が課題。予約受付→運 handing 手配→積込・運行→実績報告といった一連の業務管理と乗車切符、カーゴトラック便料金の収受業務が発生。

(4) 情報発信

- ・サイクル雑誌等に本取組を含めたサイクル環境を紹介
- ・サイクル団体等を招致→SNS等で情報の拡散

(5) その他

- ・社会実験的な位置づけ。実施体制の構築を含め、さらなる調整が必要。

3 目標

交流人口の拡大、トキめき鉄道・あいの風鉄道の利用促進

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	協議・調整		実施									

5 事業費（概算）

1,000,000 円

<内訳>

- ・情報発信料（雑誌掲載等） 200,000円
- ・運行支援800,000円

HP管理

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 1,200円/1h × 120時間 = 144,000円
- ・その他関連作業 6,000円/年

平成30年度 収入支出予算(案)

資料3

【収入の部】

(単位：円)

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	152,393	150,676	1,717	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	1,958,607	1,919,324	39,283	前年度繰越金(見込)
計	8,400,000	8,359,000	41,000	

【支出の部】

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,701,000	7,475,000	226,000	
広告宣伝	1,000	1,000	0	広域マップ増刷
広域旅行商品の販売促進	900,000	900,000	0	150千円×6団体
訪日プロモーション地方連携事業	3,900,000	3,700,000	200,000	旅行社招請、セールスコール、旅行博出展等
冬季シャトルバス運行事業	400,000	400,000	0	シーフードシャトルバス
鉄道魅力発信事業	1,300,000	974,000	326,000	トキ鉄、あいの風スタンプラリーグッズ
カーゴトラック&トレイン	1,000,000	800,000	200,000	サイクリスト利便性向上、大糸線利用促進
スノーリゾートシャトルバス	0	500,000	-500,000	
ホームページ運営管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	415,000	0	
会議費	200,000	200,000	0	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	15,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	284,000	469,000	-185,000	
予備費	284,000	469,000	-185,000	
計	8,400,000	8,359,000	41,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。